

抗 NAD 加水分解酵素 (溶血レンサ球菌) 抗体 (ウサギ抗血清)

ポリクローナル抗体

64-005 50 μ l, 64-006 250 μ l

溶血レンサ球菌のNAD加水分解酵素 (NADase) は菌体外に分泌される生理活性物質の1つであり、外毒素としての機能はいまだに不明な点が多いものの、劇症型感染症などの病原性に関与していることが示唆されている¹。NADaseはA群溶血レンサ球菌だけでなく、C群やG群の菌株によっても産生され、これらのアミノ酸配列は高度に保存されている。溶血レンサ球菌の感染に際し、ストレプトリジンO (SLO) と同様にNADaseに対する抗体価が上昇することが知られている。

本品は、C群溶血レンサ球菌のNADaseを遺伝子組換え技術により大腸菌で大量発現させ、高度に精製した抗原を用いてウサギを免疫することにより作成した²。

用途

- 1) ウェスタンブロッティング (2,000~10,000 倍希釈)
- 2) 免疫沈降法
- 3) NADase 活性の中和

製品の性質

性状： 0.09% アジ化ナトリウムを含む血清

反応性：溶血レンサ球菌由来の NAD 加水分解酵素 (A 群および C 群由来 NADase)

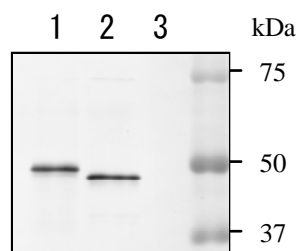
保存： 4°C (長期、-70°C)

データリンク UniProtKB [Q5R2E3](#)

文献

1. Stevens D *et al* "Molecular epidemiology of nga and NAD glycohydrolase/ADP-ribosyltransferase activity among *Streptococcus pyogenes* causing streptococcal toxic shock syndrome." *J Infect Dis* **182**: 1117-1128 (2000) PMID: [10979908](#)
2. Kimoto H *et al* "Genetic and biochemical properties of streptococcal NAD-glycohydrolase inhibitor." *J Biol Chem* **281**: 9181-9189 (2006) PMID: [16380378](#)

抗 NAD 加水分解酵素抗体を用いたウェスタンブロッティング法による A 群および C 群溶血レンサ球菌が培養上清中に分泌した NADase の検出 (下図)。



レーン 1 : A 群溶血レンサ球菌の培養上清
レーン 2 : C 群溶血レンサ球菌の培養上清
レーン 3 : 培地のみ (コントロール)